上川町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

町内では、住民の高齢化が進んでおり、これに合わせて自家用車などの生活の足を持てず、日常生活に支障を来たしている住民も増加している。また、自家用車を所有していても、運転に危険を感じ、使用できない高齢者もいる。これらの状況を踏まえ、公共交通を軸としたまちづくりによる地域活性化などを行う上でも、コミュニティバスを含めた公共交通の確保が不可欠である。
住民ニーズに合った、新たな交通サービスの提供と公共交通の利用拡大を行うことで、住民がより安全で安心な暮らしを実現するための交通環境を確保することを目指している。

生活交通確保維持改善計画の目標

通院や買い物、入浴などの生活面での利便性を確保し、日常生活及び地域の活性化に資する公共交通を確保する。

◆コミュニティバスの利用者数（目標）　年間3,000人以上

※車両減価償却費等国庫補助金の定量的な目標も同上

令和３年度事業概要

上川町コミュニティバス
上川駅前～医療センター・たいせつの絆～上川駅前

【車両減価償却費等国庫補助】

地域公共交通の現況

・JR石北本線（上川駅）
・道北バス（株）
　（地域間幹線系統・生活交通路線）
・越路線デマンドバス(自家用有償運送)
・障害者通所送迎(福祉輸送)

協議会開催状況

（1）平成30年8月24日（金）上川町地域公共交通会議
　・コミュニティバス実証運行【第１回】に向けて
（2）平成31年1月15日（火）　上川町地域公共交通会議
　・コミュニティバス実証運行【第１回】結果・第２回に向けて
（3）平成31年3月26日（火）上川町地域公共交通会議
　・コミュニティバス実証運行【第２回】の結果について
（4）令和元年6月4日（火）上川町地域公共交通会議
　・上川町コミュニティバスの本格運行について
　・地域内フィーダー系統確保維持計画について
（5）令和2年6月15日（月）上川町地域公共交通会議
　・自家用有償旅客運送の更新登録申請について
　・地域内フィーダー系統確保維持計画について
（5）令和3年1月13日（水）上川町地域公共交通会議
　・上川町コミュニティバスの実施報告について
　・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について
（6）令和3年6月11日（金）上川町地域公共交通会議
　・上川町コミュニティバスの運行について
　・地域内フィーダー系統確保維持計画について
（7）令和4年1月19日（水）上川町地域公共交通会議
　・上川町コミュニティバスの実施報告について
　・地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価について

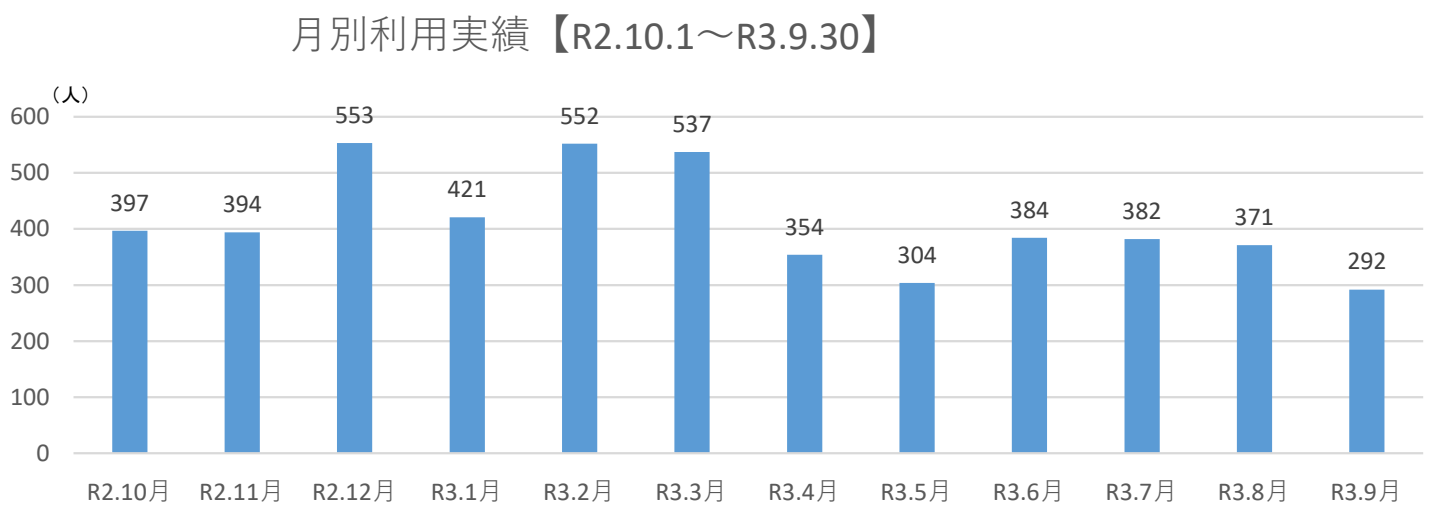
令和３年度事業の実施状況

１）プロセス、創意工夫

・平成30年度に2度の実証運行を実施。実証運行の分析及び町内会役員との意見交換などを通して本格運行の経路及び時刻表を作成。
・高齢者の入浴施設である「たいせつの絆」や生涯学習の拠点である「かみんぐホール」、町内の病院「医療センター」へのアクセスを重視。
・3便目及び5便目については、逆回り運行とし、各施設の利用後に自宅へ帰れる手段も確保した。
・各家庭に掲示用の路線図・時刻表を作成し配布した他、ポケット版の時刻表等を作成し、バス車内及び各公共施設等に設置した。

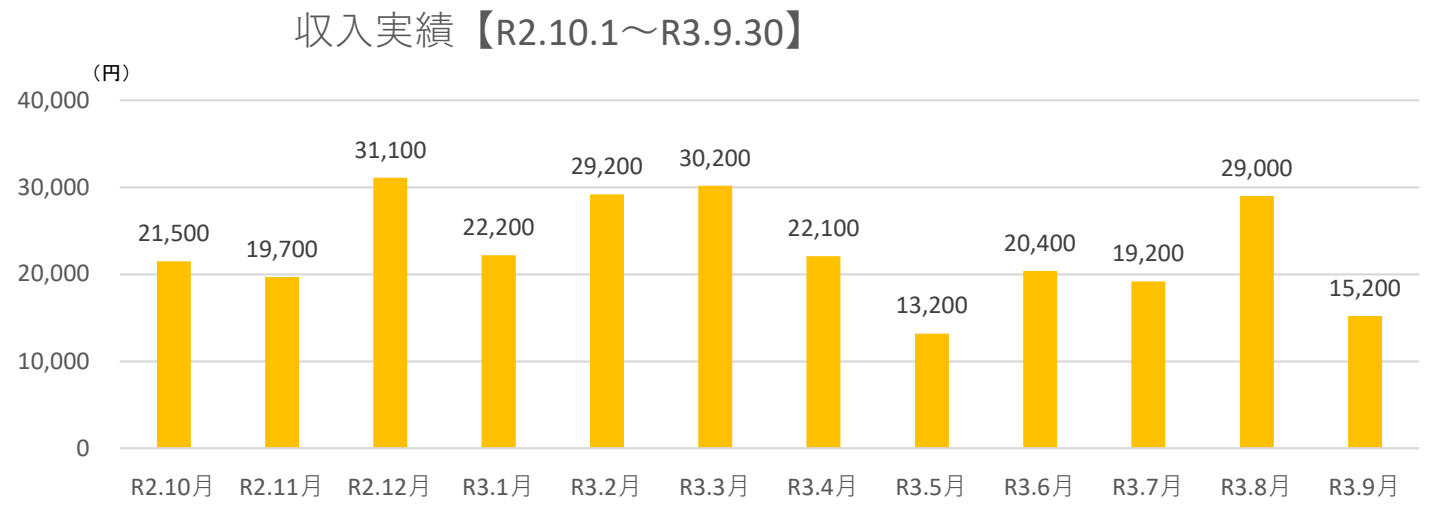
２）運行系統

３）利用実績



利用者合計　4,941人

４）収入実績



収入合計　273,000円

5）事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

6）目標・効果達成状況

新型コロナの影響により減少傾向が予想されていたが、対象期間の輸送人員が目標3,000人だったが、4,941人と大きく上回る結果となった。

車両の取得時期は予定どおり達成された。

7）事業の今後の改善点

利用者が固定化されていることから、各町内会等に聞取り調査などを実施・広報誌等を活用した利用促進策を実施し、運行計画等を随時改善する。

8）地方運輸局における二次評価結果

（令和4年度分と併せて評価）